

「選挙に出馬するだけで何百万もかかると聞きましたが
なぜですか？」

平成 28 年 5 月 3 日

●専業主婦さんからの質問

日本の選挙は出馬するだけで何百万もかかると聞きましたがなぜですか？
その費用がもっと少なければ誰でも立候補できて、もっと政治が身近になっ
て、有権者の政治への意識が高まる、と思うのは間違っていますか？

●西田昌司の答え

選挙制度を変えて今よりも供託金を下げたところで立候補者が増えるかとい
うと私は疑問に思いますが、選挙で大事なものは名望家を選ぶことだと私は
ずっと述べてきました。つまり、「出たい人」ではなく「出てもらいたい人」
を選ぶべきですし、そういう人でないと国民の代表である政治家の仕事は務
まりません。

名望家の条件としては、まず第一に経済的に自立していなければなりません。
しっかりとした職業に就いて自分で身を立てられて、社会で経験を積ん
だ人でなければ政治家が務まるはずもありません。このことは、先日の宮崎
謙介議員の議員辞職騒動の際に強く感じたことです。

宮崎さんは早稲田大学を卒業されてからいくつかの会社に勤められた後に
起業をも経験されたという方ですが、人間としての常識に全く欠けていたこ
とが今回の騒動で世間に知れ渡ってしまいました。今になってみると、実は
社会で積んだ経験もそれほどでもなく、政治家になりたいという気持ちだけ
がはやってしまったのではないかと思わされるのです。

宮崎さんの辞職に伴って空いた議席を埋めるために我々が公募をしたところいろいろな方が応募されてきましたが、我々は宮崎さんの失敗を生かして今度こそは名望家を選ぶべきとの意識の下で、木村弥生さんというしっかりとした方を選ぶことができたと思っています。

選挙に出るからには供託金が自分で払えるくらいの経済力がなければならぬとは思いますが、だからといってお金の沢山ある人が政治家になるべきということをお願いするわけでは決してありません。社会でしっかりと経験を積んだまっとうな人物が政治家として選ばれるべきだと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>